

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	Deep learning法を用いたICU入室患者における術後せん妄予測モデルの検討		
2. 対象患者	以下の期間に弘前大学医学部附属病院で手術後に集中治療室に入室し治療を受けたすべての患者様		
3. 対象となる期間	2015年1月1日 ～ 2020年 12月 31日		
4. 実施診療科等	麻酔科		
5. 研究責任者	氏名	木下 裕貴	所属 弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	共同研究機関はありません。		
7. 研究の意義	術後せん妄は術後の認知機能のみならず、在院日数や死亡率に影響する重要な合併症です。現在、術後せん妄を予測する方法の中で確定的なものはありません。対象となる患者様の既往歴や術前・集中治療室入室時の血液検査の結果等からDeep learningという人工知能を用いた方法で術後せん妄予測の最も優れたモデルを開発し、術後せん妄の予防法の確立やよりよい術後の集中治療に繋げていきたいと考えています。		
8. 研究の目的	患者様の既往歴・集中治療室入室時の血液検査等からDeep learningを用いて術後せん妄予測モデルを算出し、モデルの精度について検証を行うことを目的とします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	年齢や身長、体重、既往歴などに加えて術前や集中治療室入室時の血液検査、手術中の出血や輸液量、輸血量、術後せん妄の有無等のデータからDeep learningを用いて術後せん妄予測モデルを算出します。全く異なる患者様のグループでそれらのモデルが妥当であるか精度の検証を行います。		
10. 個人情報の保護	それぞれのデータは名前等の記載はせず、またデータ自体は個人の特定性が低いいため、解析やデータの公表にあたっては各個人の同定は不可能であり、対象者のプライバシーは十分に擁護されると考えます。収集したデータは麻酔科学講座で保管します。該当患者様およびその御家族から当検討へ批判や拒否の意向が示された場合には該当患者様のデータを削除します。ただし、学会や論文に発表・投稿後に拒否の意向を示された場合、公表後の結果を修正することはできませんので、御了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	研究責任者、すべての共同研究者に開示すべき利益相反は存在しません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座 木下 裕貴		
	電話	0172-39-5113	FAX 0172-39-5112